

第11回石井藤吉郎杯中学野球大会 第一中学校優勝

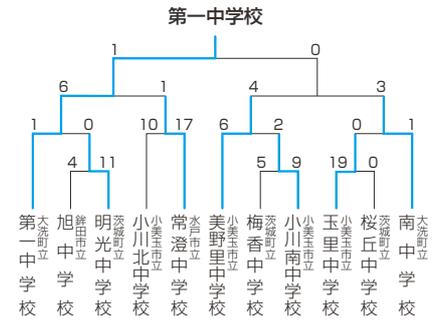
8月19日（土）、20日（日）の2日間、町近郊の11チームが、1・2年生中心の新布陣で参加し熱戦を繰り広げました。

第11回を数えた今大会は、昨年同様、第一中学校と昨年優勝の美野里中学校との決勝戦となりました。息詰まる投手戦が展開され、少ないチャンスを生かした大洗第一中学校が1対0で昨年の雪辱を果たしました。

また、南中学校も準決勝で美野里中学校に延長戦の末敗れましたが、3位に入り健闘しました。



第11回 石井藤吉郎杯野球大会結果表



斉田選手



関選手



ゆっくら健康館 SQチームの皆さん

第20回波崎トライアスロン大会で健闘

9月10日（日）、第20回波崎トライアスロン大会が波崎町漁港周辺で開催され、ゆっくら健康館SQチームが出場し、個人・団体ともに健闘しました。

ミドルタイプ（スイム2.25km・バイク80km・ラン15km）

男子 田山 徹哉さん 178位 女子 関 美華さんが第7位

オリンピックタイプ（スイム1.5km・バイク40km・ラン10km）

女子 斉田 洋子さん 3位
リレータイプ（スイム1.5km・バイク40km・ラン10km）

ゆっくらSQ 9位
（スイム 長谷川 稔さん・バイク 瀬谷 昌巳さん・ラン 関 一郎さん）

ショートタイプ（スイム750m・バイク20km・ラン5km）

男子 植田 敏行さん 48位 女子 雨澤 由香さん 14位

大洗ポイントカード会より 大洗海の大学へ「ライフジャケット」を寄贈

大洗ポイントカード会から、NPO法人大洗海の大学へ72,180円の寄付を受けて、海の大学ではプログラム参加者の安全を守るという思いを込めて「ライフジャケット（大人M10着、こどもM15着、こどもS10着）」を購入しました。

その寄贈式が9月11日（月）、大洗海の大学において、おおあらいポイントカード会の今関会長から大洗海の大学中川総長へ手渡されました。当大学事務局長の山崎さんは、今まで以上にプログラムに参加する皆さんの安全と、特に幼稚園から小学校低学年の小さい子どもたちの安全が守れると期待を寄せていました。



ハンギリやタコダルを見てきました。

9月1日（金）、18名が参加し、坂東市のミュージアムパーク茨城県自然博物館で展示されていた大洗町のハンギリや漁の様子を撮影したビデオを見てきました。午後は水戸市立博物館で大洗町のタコ漁の様子を復元したタコダルとタコガイなどを見学しました。

会場では、昔町内で見られた桶屋によるハンギリの製作風景や漁の様子などの話に花を咲かせていました。



子どもたちの笑顔は、元気のみなもと ～子育て支援ボランティア「すくすく」 10年が経ちました～

子育て支援ボランティア「すくすく」は、公民館講座「めざせ“元気っ子”」に参加している幼児を持つ若いお母さんのために活動しているボランティアです。「育児にがんばっているお母さん、少し息抜きしてね」「ゆとりある楽しい育児をして下さいね」という想いで、講座受講時間中の保育ボランティア活動を10年間続けてきました。

お預かりしたことのあるお子さんがすくすくと伸びやかに育ち、幼稚園・保育所、小学校に通園・通学をしている姿を見かけると大変嬉しく思います。若いお母さん方との会話は私たちボランティアの励みとなり、かわいいお子さんの笑顔は元気の源になっています。今後とも皆さんと助け合いながら活動を続けていきます。

大洗わくわく科学館特別企画 ～達人と話そう！～

大洗わくわく科学館では、7月～8月に夏休み特別企画「達人と話そう！」が開催されました。

7月17日には、海の日にちなんで「船の模型づくりの達人」が来館し、昔と今の漁船模型の説明や、フェリー模型づくりの実演をしました。

また、7月22日には、「ラジコンヨットとラジコンヘリコプターの達人」の実演、8月16日・17日には「アウトドアの達人」のカヌー体験談など、訪れた皆さんはそれぞれの達人たちの実演を交えながらのお話に興味津々でした。



カヌー体験談をする
中川 祐二さん



船の模型の説明をする
巖崎 健治郎さんと
関根 巧さん



育てよう 一人一人の 人権意識 —街頭啓発活—

8月27日（日）八朔祭歩行者天国内で人権意識を高めようと街頭啓発活動が行われました。

町の人権擁護委員3名が、八朔祭に訪れた皆さんに人権啓蒙物品を配布し「思いやりの心・かけがえのない命を大切に」と訪れた皆さんに呼びかけました。

わが家のアイドル



せき ふうか
関 風花ちゃん
(前原1区 1歳)
お父さん 彬 お母さん 麻衣子
「1歳おめでとう！」



ひらの ゆり
平野 友梨ちゃん
(蔵前1区 1歳)
お父さん 好一 お母さん 和美
「わが家のいやし系アイドルです。」

「私が惚れこむ大洗」

■大洗が好きで、大洗に定住した方や、いつも大洗に来て二地域の居住を実践している方に、大洗のどこが好きになったのかお伺いしました。

大洗町に住んでみて、この町が好きになりました。

第1回目は、大洗に住んで5年半になる、元日本核燃料開発株式会社（略称NFD）勤務桜永友信さん（60歳）です。

桜永さんは、横浜市にある民間会社で約30年間、原子力発電所の機械類、設備の設計や製作等を行なう技術者でした。8年前、福井県敦賀市にある建設所に2年半赴任しその後大洗町にあるNFDに4年間勤務しました。

北海道生まれで、高校2年から大学まで九州、就職してからは、横浜市、敦賀市に住み、各地と比較し「大洗が最高」と、永住の地に決めたそうです。

大洗町の魅力は、「風光明媚（海・湖・川・緑）、空気が美味しい、交通渋滞が少ない、物価が安く、気候が温暖、災害（台風、洪水、地震、津波、雪害など）が少ない、レジャースポットが在り、カーフェリーが就航し、首都圏に1時間半で行ける、などです。前向きな町政も好きです。」と話していました。



「住んでみて、大洗が好きになりました」。桜永 友信さん

大洗町の歴史をみつめて①

大洗磯前神社の歴史と社殿

一、始まりと境内の建物

大洗山と称する境内地の周囲

は、スタジイを主体とした常緑樹で覆われており、広い神域となっています。石段を登ると正面に随神門が立ち、奥に唐破風のついた拝殿が望めます。振り返れば太平洋が眼下に広がり、日の出を正面に拝まれる位置に在ります。こうした境内への入口にさしかかった時、自ずと神聖な気持ちにさせられます。

大洗海岸の台地に東を向いて鎮座する大洗磯前神社は、平安時代初期の齋衡三（八五六）年に創建したと記されています（『文徳実録』）。ご祭神は大己貴命と少彦名命の二柱です。海上安全、豊かな収穫をつかさどる神として祀られ、古代から大洗の漁民をはじめ多くの人々が崇拜し、豊漁を感謝しながら現在まで信仰してきました。

創建後に官社に列せられ、延喜五（九〇五）年に編纂を開始した古代法典『延喜神名式』に名がみえ、いわゆる「式内社」と呼ばれ、大社の格式がありました。平安時

代に創建した建物は現在に残っていませんので、どのような形式であったかは判りません。

古い時代の記録はありませんが、約四三〇年位前の永祿年間に動乱で社殿すべてが焼かれ、以後江戸中期までの百数十年間は海際に小さな祠を祀って、神社として存続していたとの記録があります。（財団法人文化財建造物保存技術協会 畑野経夫）

大洗磯前神社では、九月中旬より拝殿向拝の保存修理事業が始まりました。一〇月には、彫刻の彩色の搔落とし作業が予定されています。



随神門正面

子燕と思へぬ業や宙返り
初咲の朝顔の名は団十郎

角一 鈴木 さた

〔評〕 毎口水をやって待ちわびていた朝顔が、初めて一ツ咲いた。華やかで逞ましい花だ、その名は多分歌舞伎役者の市川団十郎に因んだものである。

蜘蛛の囲につく水滴にある光
砂浜に人垣なせる西瓜割

新町 岸和田和子

〔評〕 盛夏、浜辺の風物詩。子供達の喚声が聞えるようだ。

寡婦として四半身を買ふ初鯉
兎に着せる三代前の白緋

金沢 猿田 俊子

〔評〕 緋は白地に紺のまたは黒のかすり模様をあらわした夏の衣服。三代前の緋を小さい子に直して着せ、作者は当時を懐かしんでいる。

七夕を飾りて狭し保育園
遠雷にせかされてをり畑仕事

水戸 宮本 茂登

〔評〕 雲行きが怪しくなってきた、その内に、遠くから雷鳴が聞えるようになった。今日予定した仕事は終らせたい、そうかと言って雷雨に出会ったのは怖い。作者の動揺が窺える。

夕富士のかくれもなく梅雨晴間
刻々と水の暮れゆく晩夏かな

髭釜 川崎 京子

一年に一度寄る店心太
合歓の花今を盛りの蔵の町

永町 浅見三千子

生れたる村去り難し麦熟る、
妻に似てやさしき娘等やさくらんぼ

夏海 杉山いわを

厚切りのトマト並べて朝の膳
梅雨明けて庭に鉄のひびく日々

髭釜 岸根世司子

端居して夕波の音聞いてをり
気持良く風吹き抜ける夏座敷

東光台 田中 勝枝

寺屋根の反りの上なる雲の峰
麦笛を吹くといふことは知らず

水戸 東小川都美代

賽銭を握り茅の輪を潜りけり
蝶とんで梅雨の明けたる空眩し

明神町 小松崎美代

合歓の花咲くその下に塚のあり
暑き日につくるカレーの辛さかな

夏海 大貫千代子

夏負に気も引立たぬ厨かな
鷺草の飛ぶが如きに気品あり

新町 木ノ本和江

選者吟

この辺で梅雨明願ふ雷三日
玄関に品位を保ちこてふ蘭
波来れば波に駆け寄る跣足の子

加藤 宗一

壁面製作

「いもほり」

ひじり保育園 年長児



新聞紙を丸めて色をぬりました。
様々な形のいもがおもしろく出来ました。

ぼくとわたしのちびっこギャラリー

年間パスポート特典 「夜の水族館」

～年間パスポート所有者のみの限定企画～

■開催日時

10月21日(土)・28日(土) 計2日間 17:30～20:00

※イルカ オーシャンライブ 18:00、19:00 計2回

■内容

今回開催される「夜の水族館」は、当館の年間パスポート所有者を対象とした企画となります。館内の照明を通常よりも暗くし、夜の生き物たちの生態を見ていただきます。また、館内各所には飼育員を配置し、魚たちの解説を実施します。

さらに、開館以来愛され続けてきたマスコットキャラクター“ピルル”と“ブルル”の赤ちゃんが誕生しました。そこで、ベビーピルル、ベビーブルルのお披露目式を同日17:20より開催します。

ぜひ、ご来館いただき、二人のベビーの誕生を一緒にお祝いしてください。

〔入館料〕

種別	個人	団体	年間パスポート
大人	1,800円	1,400円	4,000円
小中学生	900円	700円	2,000円
幼児	300円	250円	700円

- ・料金は消費税が含まれています。
- ・団体は20人以上です。
- ・幼児は3歳以上です。

※年間パスポートは、「夜の水族館」当日にご購入することもできます。

〔営業時間〕9:00～17:00 ※最終入館 16:00

〔休館日〕12月11日(月)・12日(火)



アクアワールド

茨城県大洗水族館

<http://www.aquaworld-oarai.com>

TEL 029-267-5151

